



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

東・福

上場会社名 株式会社三越伊勢丹ホールディングス 上場取引所  
 コード番号 3099 URL <http://www.imhds.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大西 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務本部総務部コーポレートコミュニケーション担当長 (氏名) 滝口 一雄 (TEL) 03-6205-6003  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	284,689	△6.1	6,340	△40.1	7,689	△33.3	4,816	△28.7
26年3月期第1四半期	303,190	4.4	10,577	53.2	11,521	7.9	6,760	11.4

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,978百万円(△85.3%) 26年3月期第1四半期 13,470百万円(8.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	12.21	12.16
26年3月期第1四半期	17.14	17.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,241,985	536,852	41.9
26年3月期	1,284,658	541,069	40.8

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 519,873百万円 26年3月期 524,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	595,000	△1.3	10,000	△20.8	9,000	△33.0	4,000	△46.2	10.14
通期	1,300,000	△1.6	35,000	1.0	32,000	△16.8	20,000	△5.5	50.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	394,880,074株	26年3月期	394,869,354株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	279,585株	26年3月期	277,709株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	394,595,567株	26年3月期1Q	394,527,563株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)におけるわが国経済は、政府による財政政策や日本銀行による金融政策等が景気を下支えしましたが、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減が個人消費を大きく押し下げました。加えて、ガソリン・電気・食品等、幅広い品目での価格上昇により、今後の消費マインドの低下が懸念される等、経済環境は依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは「常に上質で新しいライフスタイルを創造し、お客さまの生活の中のさまざまなシーンでお役に立つことを通じて、お客さま一人ひとりにとっての生涯にわたるマイデパートメントストアとなり、高収益で成長し続ける世界随一の小売サービス業グループ」の実現に向けた取り組みを推進いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は284,689百万円(前年同四半期比6.1%減)、営業利益は6,340百万円(前年同四半期比40.1%減)、経常利益は7,689百万円(前年同四半期比33.3%減)、四半期純利益は4,816百万円(前年同四半期比28.7%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①百貨店業

百貨店事業におきましては、中核となる株式会社三越伊勢丹の基幹3店が、世界最高レベルの店舗を目指した取り組みを進めております。

伊勢丹新宿本店では、5階リビングのプロモーションスペース「パーク」が3月にオープンしたのを皮切りに、来年春を予定しているリビング・ベビー子供フロアのリモデルオープンに向けた取り組みを推進いたしました。

三越日本橋本店では、将来的な全館リモデルに向け、日本橋地区の再開発により増加している来街者の取り込みに向けた取り組みを推進いたしました。

三越銀座店では、世界の銀座のランドマークとして、増加する海外からのお客さまに対するサービスの充実等、新しい店作りに向けた取り組みを推進いたしました。

顧客接点の拡大と充実に向けた新規中小型店舗の出店については、4月26日に「MI PLAZA MITSUKOSHI ISETAN アミューあつぎ店」をオープンいたしました。

空港店舗ビジネスの拡大に向けては、6月13日にメンズ2号店となる「イセタン羽田ストア(メンズ)ターミナル2」を、羽田空港国内線第2旅客ターミナルにオープンいたしました。また、かねてよりお客さまからご要望のあったレディースアイテムの展開にあたり、7月18日に「イセタン羽田ストア(レディース)ターミナル1」を、羽田空港国内線第1旅客ターミナルにオープンいたしました。

イセタンアウトレットストアについては、7月17日に5店舗目となる「三井アウトレットパーク木更津店」をオープンいたしました。

WEB事業におきましては、百貨店ECにおけるお客さまの利便性向上および各種機能の強化等による収益力向上に向け、5月に「三越オンラインストア」と「伊勢丹オンラインストア」の会員IDを統合し、サイトをリニューアルオープンいたしました。

海外の百貨店業におきましては、長期的に経済成長が見込まれる中国・東南アジア地域において、グループ全体に貢献できる収益基盤の構築に向けた取り組みを推進いたしました。

なお、このセグメントにおける、売上高は260,177百万円(前年同四半期比5.3%減)、営業利益は2,965百万円(前年同四半期比58.7%減)となりました。

#### ②クレジット・金融・友の会業

クレジット・金融・友の会業におきましては、株式会社エムアイカードが、カード会員数の拡大や外部加盟店の拡大に努めました。

なお、このセグメントにおける、売上高は8,663百万円(前年同四半期比1.5%増)、営業利益は2,296百万円(前年同四半期比31.4%増)となりました。

#### ③小売・専門店業

小売・専門店業におきましては、株式会社三越伊勢丹フードサービスが、「日常の安心」と「こだわりの楽しさ」を提案する食生活のサポーターとして、地域のお客さまの期待に応える取り組みを推進し、4月26日にクイーンズ伊勢丹石神井公園店をリモデルオープンいたしました。

通信販売事業については、株式会社三越伊勢丹通信販売が、日本郵便株式会社の子会社である株式会社郵便局物販サービスとの間で、商品調達・カタログ制作を行う合弁会社「株式会社JP三越マーチャンダイジング」を4月1日付で設立いたしました。

なお、このセグメントにおける、売上高は13,889百万円（前年同四半期比32.2%減）、営業損失は317百万円（前年同四半期は営業損失371百万円）となりました。

#### ④不動産業

不動産業におきましては、グループにおける商業不動産事業の組織再編の一環として、4月1日付で株式会社三越伊勢丹ビルマネジメントが、株式会社三越伊勢丹の専門館事業のうちアルタ事業を承継すると共に、株式会社三越パーキングサービスを吸収合併し、商号を「株式会社三越伊勢丹プロパティ・デザイン」に変更いたしました。同社は、グループ全体の営業支援および省エネ関連業務に取り組み、地域の特性に合わせた管理体制の構築等、業務効率の改善に努めました。

また、お客さまの「住まい」に関する提供価値の拡大およびグループ全体の収益力向上に向け、株式会社三越不動産が従来の不動産賃貸事業に加え、新たにマンション分譲事業の取り組みを進めるべく、分譲マンションブランド『PROUD（プラウド）』を展開する野村不動産株式会社と資本業務提携契約を締結いたしました。

なお、このセグメントにおける、売上高は9,896百万円（前年同四半期比21.2%増）、営業利益は1,577百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

#### ⑤その他

その他におきましては、情報処理サービス業の株式会社三越伊勢丹システム・ソリューションズ、物流業の株式会社三越伊勢丹ビジネス・サポート、人材サービス業の株式会社三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ等が、グループ各社に対する営業支援体制の効率化促進や、外部営業強化に向けた取り組みを推進いたしました。

なお、このセグメントにおける、売上高は15,850百万円（前年同四半期比1.5%減）、営業損失は205百万円（前年同四半期は営業利益534百万円）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,241,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ42,672百万円減少しました。これは主に、現金及び預金、並びに受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものです。

負債合計では705,133百万円となり、前連結会計年度末から38,455百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したことなどによるものです。

また、純資産は536,852百万円となり、前連結会計年度末から4,217百万円減少しました。これは主に、利益剰余金による配当を行ったことなどによるものです。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期業績予想につきましては、概ね計画通り推移しており、現時点におきましては平成26年5月12日公表の通期業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更並びに割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が3,842百万円増加し、利益剰余金が2,484百万円減少しております。なお、当該変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	55,123	37,015
受取手形及び売掛金	138,850	116,666
有価証券	728	880
商品及び製品	56,148	57,169
仕掛品	78	74
原材料及び貯蔵品	1,191	968
その他	50,484	50,163
貸倒引当金	△2,948	△2,947
流動資産合計	299,657	259,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	178,266	175,647
土地	531,241	531,215
その他（純額）	23,573	22,736
有形固定資産合計	733,081	729,599
無形固定資産		
ソフトウェア	15,243	15,596
その他	36,967	37,003
無形固定資産合計	52,211	52,600
投資その他の資産		
投資有価証券	104,989	104,789
その他	94,897	95,188
貸倒引当金	△290	△289
投資その他の資産合計	199,595	199,687
固定資産合計	984,888	981,888
繰延資産		
社債発行費	112	105
繰延資産合計	112	105
資産合計	1,284,658	1,241,985

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	134,420	105,791
短期借入金	66,985	47,606
コマーシャル・ペーパー	13,000	48,000
未払法人税等	6,655	4,133
商品券回収損引当金	22,496	22,147
引当金	16,282	8,300
その他	175,724	162,839
<b>流動負債合計</b>	<b>435,565</b>	<b>398,818</b>
<b>固定負債</b>		
社債	32,000	32,000
長期借入金	59,300	54,300
繰延税金負債	157,699	156,331
退職給付に係る負債	38,561	41,545
引当金	107	48
持分法適用に伴う負債	4,016	3,894
その他	16,339	18,195
<b>固定負債合計</b>	<b>308,023</b>	<b>306,315</b>
<b>負債合計</b>	<b>743,588</b>	<b>705,133</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	50,157	50,162
資本剰余金	325,116	325,122
利益剰余金	142,110	140,218
自己株式	△266	△269
<b>株主資本合計</b>	<b>517,117</b>	<b>515,234</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	1,249	1,651
繰延ヘッジ損益	0	△6
為替換算調整勘定	6,526	3,308
退職給付に係る調整累計額	△302	△313
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>7,474</b>	<b>4,639</b>
新株予約権	1,480	1,448
少数株主持分	14,997	15,530
<b>純資産合計</b>	<b>541,069</b>	<b>536,852</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,284,658</b>	<b>1,241,985</b>



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	303,190	284,689
売上原価	216,669	203,531
売上総利益	86,521	81,158
販売費及び一般管理費	75,943	74,818
営業利益	10,577	6,340
営業外収益		
受取利息	204	210
受取配当金	381	426
持分法による投資利益	1,024	934
その他	392	646
営業外収益合計	2,003	2,217
営業外費用		
支払利息	337	324
その他	721	544
営業外費用合計	1,059	868
経常利益	11,521	7,689
特別利益		
固定資産売却益	28	—
投資有価証券売却益	18	19
関係会社株式売却益	—	34
特別利益合計	47	53
特別損失		
減損損失	379	—
事業撤退損	—	735
特別損失合計	379	735
税金等調整前四半期純利益	11,190	7,007
法人税等	4,242	1,987
少数株主損益調整前四半期純利益	6,947	5,020
少数株主利益	187	203
四半期純利益	6,760	4,816

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,947	5,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	268	965
繰延ヘッジ損益	△1	△7
為替換算調整勘定	2,544	△781
退職給付に係る調整額	—	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	3,710	△3,207
その他の包括利益合計	6,522	△3,042
四半期包括利益	13,470	1,978
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,349	1,982
少数株主に係る四半期包括利益	1,121	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	百貨店業	クレジット・金融・友の会業	小売・専門 店業	不動産業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	274,262	4,475	17,226	3,842	299,806	3,384	303,190	—	303,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	457	4,058	3,250	4,322	12,088	12,708	24,797	△24,797	—
計	274,719	8,533	20,476	8,164	311,894	16,092	327,987	△24,797	303,190
セグメント利益又は損 失(△)	7,173	1,747	△371	1,432	9,982	534	10,516	61	10,577

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造・輸出入等・卸売業、物流業、人材サービス業、情報処理サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額61百万円は、セグメント間未実現利益等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	百貨店業	クレジット・金融・友の会業	小売・専門 店業	不動産業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	259,851	4,798	10,853	6,160	281,663	3,026	284,689	—	284,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	326	3,864	3,036	3,736	10,963	12,824	23,788	△23,788	—
計	260,177	8,663	13,889	9,896	292,627	15,850	308,478	△23,788	284,689
セグメント利益又は損 失(△)	2,965	2,296	△317	1,577	6,522	△205	6,316	23	6,340

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造・輸出入等・卸売業、物流業、人材サービス業、情報処理サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額23百万円は、セグメント間未実現利益等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

当該変更による、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響額は軽微であります。

(追加情報)

第1四半期連結累計期間において、連結子会社である㈱三越伊勢丹は、アルタ事業を連結子会社である㈱三越伊勢丹ビルマネジメント(現 ㈱三越伊勢丹プロパティ・デザイン)へ分割いたしました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間よりアルタ事業は「不動産業」に区分されております。なお、前第1四半期連結累計期間は「百貨店業」に区分されております。

4. 補足情報

(1) 連結業績の概要

(単位：百万円)

項目	当第1四半期累計期間 (平成26年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成25年4月～6月)	前年差	前年比
連結売上高	284,689	303,190	△ 18,500	93.9%
連結売上総利益	81,158	86,521	△ 5,362	93.8%
連結販売費及び一般管理費	74,818	75,943	△ 1,125	98.5%
連結営業利益	6,340	10,577	△ 4,237	59.9%
連結経常利益	7,689	11,521	△ 3,832	66.7%
連結四半期純利益	4,816	6,760	△ 1,943	71.3%

(2) 三越伊勢丹個別の業績の概要

①業績の概要

(単位：百万円)

項目	当第1四半期累計期間 (平成26年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成25年4月～6月)	前年差	前年比
売上高	146,270	156,260	△ 9,989	93.6%
売上総利益	39,931	42,276	△ 2,344	94.5%
販売費及び一般管理費	37,704	38,032	△ 328	99.1%
営業利益	5,549	7,800	△ 2,251	71.1%
経常利益	5,542	7,551	△ 2,009	73.4%
四半期純利益	13,791	5,202	8,589	265.1%

②店別売上高

(単位：百万円)

店舗名	当第1四半期累計期間 (平成26年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成25年4月～6月)	前年差	前年比
伊勢丹新宿本店	56,507	60,684	△ 4,177	93.1%
三越日本橋本店	37,964	41,104	△ 3,140	92.4%
三越銀座店	15,782	15,424	357	102.3%
伊勢丹立川店	8,751	9,235	△ 483	94.8%
伊勢丹松戸店	4,582	5,099	△ 516	89.9%
伊勢丹浦和店	9,466	10,209	△ 742	92.7%
伊勢丹相模原店	5,489	6,003	△ 514	91.4%
伊勢丹府中店	4,521	4,840	△ 319	93.4%
三越千葉店	3,204	3,657	△ 452	87.6%
計	146,270	156,260	△ 9,989	93.6%

(3) 国内グループ百貨店の売上高の状況

(単位：百万円)

会社名	当第1四半期累計期間 (平成26年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成25年4月～6月)	前年差	前年比
札幌丸井三越	13,938	15,147	△ 1,209	92.0%
函館丸井今井	1,943	2,157	△ 213	90.1%
仙台三越	7,649	8,067	△ 418	94.8%
名古屋三越	15,663	15,965	△ 302	98.1%
静岡伊勢丹	4,579	4,811	△ 231	95.2%
新潟三越伊勢丹	10,321	11,046	△ 724	93.4%
広島三越	3,585	3,733	△ 147	96.0%
高松三越	4,863	5,100	△ 236	95.4%
松山三越	3,330	3,600	△ 270	92.5%
岩田屋三越	24,415	26,116	△ 1,700	93.5%